特集
農業水利施設内の「ゴミ」問題 ▸▸ シリーズ⑥

依然としてゴミで苦しむ水土里ネット

県北地域…三種町鵜川土地改良区

地域排水を年中行っているため、冬期間も管理人がゴミ処理を行っています。

飛来ゴミ、漂着自然ゴミの一時堆積場所が道路脇にあるため、一般ゴミの投げ捨て等もあり、年々処理に係る費用が増加しています。

今後、処理について行政と協議をすることが課題となっています。

県央地域…秋田市旭川筋土地改良区

水路が泣いていますよ　ゴミの投棄は止めて

例年、用排水路や農道等に草刈後の草、畑の屑野菜、枯れ木、袋のままの一般ゴミが不法投棄されている現状です。

随時処理出来ればよいが、処理場が遠いことや処理費用関係上、ある程度まとまってから処理場に運搬していますが、夏場は特に悪臭や汚水の原因にならないよう心がけております。

県南地域…大仙市神宮寺松倉堰土地改良区

水路におけるゴミについては減ることはなく、狭隘な箇所に詰まり流れを堰き止めてしまっている箇所もみられます。これが洪水等の災害時には排水機能を低下させ被害を拡大、長期化させています。地域内に張り巡らされた水路は農業用水路としてだけではなく、災害防止施設としての役割もあり、農家、土地改良区だけではなく、行政とも協力し合いながら対応していく必要があると考えています。

水土里ネットの皆様へお願い！

広報等に「ゴミ捨て防止」コーナーを設置して頂き、草刈り・農業用資材ゴミを下流域へ流さない啓発活動をお願いいたします。

【水土里ネット秋田】